



# 新しい評価を創り、実践するパイオニアを募集！ 『伴走評価エキスパート』育成プログラム（2018年度）

社会的インパクト評価や休眠預金活用の流れから、評価ができる人材の確保が急務となっており、その中でも『伴走評価』は現場で役に立つと言われていています。本プログラムでは、社会的課題の解決に取り組む事業や組織の成長促進を支援できるような事業評価の専門家『伴走評価エキスパート』を育成します。事業のイノベーションを促進させる『**発展的評価 (Developmental Evaluation)**』という評価のアプローチを汲み上げた実践的な研修を行います。我が国のこれからの評価のあり方を共に考え、社会的価値を最大化する基盤づくりを進め、各地域・業界に展開するリーダーシップを発揮できる人材を募集します。

## ■ カリキュラムの特徴

- 最先端の評価理論と現場で使える実践例のインプット
- 研修（教室講座）と現場での実践による往復学習
- 国内で広く展開する基盤づくり（教材やツール開発等）

## ■ 『発展的評価 (Developmental Evaluation)』とは

社会的イノベーションなど、目的が固定されているというよりも目的自体が変化し、時間軸も予め設定されているというよりも流動的で前進的な対象を評価するための方法論です。動的で複雑な現実の状況に適應できる手法であり、多くのステークホルダーが関わるコレクティブ・インパクト、状況変化が早く不確実性が高い震災対応、アドボカシー活動や組織戦略、環境保全のネットワーク活動など広い分野での活用が期待されています。

## ■ 年間の流れ



## ■ 指南役の紹介

### ● 統括アドバイザー：マイケル・クイン・パットン

実用重視評価、DEの提唱者かつ第一人者。全米評価学会会長（1988）をはじめ、評価関連の要職を歴任。

### ● 指南役：

- ・ケイト マッケグ (Kinnect Group、The Knowledge Institute Ltdディレクター、ニュージーランド評価学会 副会長)
  - ・源 由理子 (明治大学 公共政策大学院 ガバナンス研究科 教授/明治大学プログラム評価研究所・代表)
  - ・今田 克司 (一般財団法人CSOネットワーク代表理事、日本NPOセンター常務理事)
- 他にも第一線で活躍する専門家を予定しています。



パットン氏



マッケグ氏



詳細はこちら↑

## ■ 募集要項

### ■ 求める人材像

- (1)伴走支援または事業評価について、一定以上の知識・経験を持っていること
- (2)実際の国内の伴走支援先団体を持っていること（事業者の場合は自団体（自分が関わっていない事業）でも可）
- (3)プログラムの全日程に終日参加可能で、評価実践のため月10~15時間程度コミットができること

● 募集定員：16名（書類および面接による選考を実施します）

● 募集期間：2018年4月～

● 参加費：98,000円（税込。宿泊費・交通費の補助あり。通常200,000円以上の研修ですが、助成事業による特別価格となっております）

● お問い合わせ：一般財団法人CSOネットワーク（担当：千葉） [eval@csonj.org](mailto:eval@csonj.org)

■ 主催：一般財団法人CSOネットワーク

■ 協力：NPO法人日本ファンドレイジング協会  
NPO法人日本NPOセンター

■ 助成：日本財団

Supported by 日本 THE NIPPON 財団 FOUNDATION